無料保養所と薬師堂

来月九日に開所式と入佛式

阿寒国立公園、雌阿寒岳の麓に建てられた総泉寺住職小林裕道師の自費による「雌阿寒温泉無料保養所」と、この住職の意気に感じて乗り出して岡崎光三氏が建立した「薬師堂」の入佛式および開所式は、いよいよきたる十一月九日午前十一時から同寺大本山総持寺の貫主勅賜円応至道禅師を迎えて、現地で盛大におこなわれることになった。

当日の参拝希望者は午前九時に総泉寺前をバスで出発、午前十時三十分薬師堂到着、午前十一時から保養所・薬師堂の落慶祝寿諷経、浄道場につづき薬師三尊開眼入佛式、祝飯、入浴、請行事のあと午後四時半に帰途につくことになっており往復バス代・昼食代とも三百円会費で、早目に同寺へ申込むこと。になっている。

薬師堂は床から棟まで三十五尺という本式の御堂で五十畳敷、講習会やレクリエーションに大いに活用されようというもので、ここから渡り廊下で温泉へゆけるようになっており、これは市街南区の秋林導三郎氏が寄附されたという。岡崎氏は薬師堂を奉納したほか、それに附属して小林師の居室一棟を増築するということで同寺関係者を感激させている。

このほどできあがった無料保養所利用規定によると、利用できるものは

一、総泉寺護持会員
二、町の遺族会員
三、町の生活保護者
四、一口五百円以上の会費を納入した協賛会員
五、十口五千円以上の会費を納入した協賛団体

で、この保養所は食器寝具持参で自炊を原則としており、備付の寝具を使用する場合は、雑持費として一日五十円、備付の自炊用具や食器を使用する場合は一日につき二十円、ランプは一灯につき一日三十円、それぞれの寄附を申しうけ、先生の引率する小・中・高校生の団体からは一日三十円の寄附を申しうけるが、生活保護世帯の湯治者からは申しうけないことになっており利用希望者増、特に団体は半日前に総泉寺へ連絡して部屋の有無を確かめるようになっていて、宿泊可能数は団体で五、六十名。

なお同寺では協賛会員を募って、募金によって寝具の整備や無電地帯なので自家発電施設を計画している。

ジープ消防車はどこへ

第一分団の新人事

十六日の定例町議会でジープ消防車一台を百七十五万円で購入することを決めたが、サテこれをどの分団に配置するのかが決っていないのは前号で報じたとおりだが、この新車は大体において市街の第一分団に配置することになるようだ。

○…昨年も第一分団にジープ車を入れたばかりなのにまたことしもかということになるがこれには裏があって、ことしの購入費百七十五万円のうち補助・起債を引いた残りの三十一万円は配置する分団の負担ということなので、今すぐ耳をそろえて三十一万円を町へ寄附できるのは第一分団だけらしいので、ここへ落着くことになるようだ。

○…そのかわり第一分団へ昨年入れたジープ車は他の分団へまわすことになるもようで、ラワンか上利別か大誉地か、どちらもほしいところで、サテどの分団へ配置されるかが注目されている。

○…三十一万円を調達して寄附することになるとすれば、第一分団としては別に財産があるわけではなく、結局町から貰う団員報酬や出動手当を積立ておいた団員の金や、三笠通りの防火水槽改修工事を分団で請負って稼いだ金を充てようとしているようで、義勇消防で苦労させた上に金の苦労までさせられるとは、消防団員たるもの、「難き哉」といったところ。

○…その第一分団ではこのほど新人事を発令した。欠員中の副分団長には庄司博氏を昇格部長には山岡庄夫・及川千代志・市原四四三岩佐盛・松本久作の五氏を昇任、班長には近納巌・田中秀雄・村山三郎・高橋勇・日置清一（経理）の五氏を昇任、近く消防車の配属が決められる。

通学区域変更に対し

東区で協議会結成

定寄町教育委員会から東二区・五区の全戸に対して、四年四月からこの両区を東小学校の通学区域に変更したいとの趣意書がさきほど配布されたのに対して住民間で寄り〳〵協議中だったが、全戸を一丸とした「通学区域変更東二区協議会」を結成して歩調をそろえてすすむことになり、このほど会長に黒木忍氏副会長に山下政隆・山陸安吉・松永功の三氏を挙げて、区域変更の趣旨は諒承するがその前提問題について充分に検討した上で住民の一致した意見を教育委員会に申入れることになったが、この動きに東五区も同調している。

上利別小も熊谷組へ

上利別小学校の増築工事は熊谷組と二百二十六万円の随意契約で工事をすすめているが、ことしの足寄町の建築工事くらい町内の建築業者が無視されたことはないと、町当局のやり方に業界から批判の声が出ている——

本別町などは地元本位で足寄の業者を入札にも参加させていないのに足寄だけは門戸開放で、ことしの大きな工事は羽磨木材が公営住宅を請負った以外はすべて町外業者となっており、なかでも東小学校増築工事・新庁舎車庫新築工事・上利別小学校増築工事など大きな仕事は全部〝熊谷組一辺倒〟となっており「車庫」の入札のときは、いづれ「上利別」があるからという言葉で町内業者に期待をもたせておいて「車庫」は熊谷組と契約、さて「上利別」ということになると川上町長は町議会で「時期が遅いので大手業者」と入札はしで随意契約の議決をとり、直ちに熊谷組と契約してしまったもので、どうしてこんなに策を用いて町内業者をボイコットするのかと不審がっている。

自主販売のために

近藤悦朗 記

すでに前　で述べた如く、自由販売の処理が国内の需給調節には役立っているとい文ども本道産業穀のほとんどが本州消費地としても数量や品質・価格等の変動により実需者も不安定であり、たまく本道の凶作等があって数量・価格が軌道に乗らないうらみもあった、本年度は幸い大豆を除いては国内消費に大体見合う様な数量の出廻りが予想されるが、一方大手需要者は年間所要量の確保には年かなりの苦労をしており、品質的に優秀な本道産豆類も価格の面ではあまり高低が甚だしいから採算が難しいので輸入を要請することになるというが、それが丁度本道の出廻り期に外国品が入って来たのでは非常に価格を圧迫することになり生産者手取りがべラ棒に安くなり、全部出埠って手持がなくなった頃輸入物も品切れだとなると突飛に高値が出るといった例はよくあることで、これは消費者が得をしているのでもなく、生産者も泣くに泣けぬ場面が繰り返されている、経済力のある農家は出荷調節をしてこの高値売りに心組を砕いているのも無理からんことであるが、それも九牛の一毛的効果しかないと見られず、大手筋の輸入業者の要望に乗せられたというのが、偽わらざるわが国農政の在り方だったといわれているこうしたシワよせが、わが畑作農民の上に覆いかぶさっていて、その上に農業資材・生活必需物資等も吾々農業経済を圧迫し、借金のドロ沼に陥ち込み、段々にもがきながら深みへ落ちてゆくのが、現在の姿であり、ここに一大決意と農民の結集の力でこの難関を打開し、何年か後には仇くにばらまかれて行くので特殊需要があるとしてすでに述べた如

ドロ沼の農家を救う価格調節運動

農に栄光の輝く農政の確立を期そうではないかと立ちあがったのがこの協販推進運動として表われて来たのであります。

生産販売の合理化には流通機構改善が大きな焦点となって居さられる、我々の生産したものが、国際経済の波に乗せられて大きくゆさぶられているということは真剣に考えなければならないことであるが、かって加えてわが国がMSA協定によって米国の余剰農産物を買入れ、そのあおりで我々農民の立場は少しも守られなかった。

今日辛うじてわが国農政が寒地農業確立・農業振興対策等の支柱を打ち出してきたことは幾分でも陽の目をみる農業という段階には入りかけたであろうが、まだ〳〵農家経済の安定には程遠い、従って生産も十勝の場合は特に消流を無視した（実際はよく判らないからだが）投機的作付が行われ、本年度の大手亡の如く国内需要をはるかに上廻る出荷量が見込まれ、農家が、計画したことと正反対の現象にぶつかる結果も決して一、二に止まらない、ここで最も合理的なことは、生産と需要を計画化した方策を立てて、その上に価格体形を調節するなら（現在の米の如く）生産は増強され国内需要は常に過不足の調整の上に立って、消費者には不必要な高価でなく相対的に効率的な流通機構となるだろう。（つづく）

日本劇場

高田浩吉・鶴田浩二の
天保水滸傳
ロマンス祭

26日ナイトショウ
処女と人妻の性典

若い獣
坊ちゃん

殴り込み芸下全部隊
悪意と天使の季節

昨日は昨日
今日は今日
太閤記

旅姿白馬小僧
ドゲを踏むな

足寄劇場

26 遠州森の石松
月光仮面

27

28 三時間半の大作
ジャイアンツ
アマゾンを行く

29

30 地獄花
有楽町で会いましょう

31

1 江戸の青空
息子の結婚

2

3

4

5

6

7

8